

令和5年度 吉賀町立吉賀中学校 学校評価表

学校教育目標： 思いやりがあり自ら学び考える、地域社会で通用する生徒の育成

目指す生徒像： 自己肯定感のもてる生徒 主体的なものごとに取り組む生徒 校歌をしっかりと歌える生徒 地域社会の一員としての自覚をもった生徒

目指す学校像： 【安】安全・安心な学校 【感】感謝・感動のある学校 【夢】夢の扉を開く学校 【流】流儀を作り流儀を守る学校

A…十分に達成できている B…おおむね達成できている C…あまり達成できていない D…ほとんど達成できていない

目指す学校像	評価計画				自己評価				学校評議員評価		改善案など		
	中期経営目標	短期経営目標	達成のための方策	評価指標	目標値(%)	アンケート			評価	結果と課題の説明		コメント	評価
						職員	生徒	保護者					
安感夢流	人権尊重の精神と実践力を培う人権・同和教育の推進	温かな人間関係の醸成	・生徒一人一人を褒め、励ます声かけを行う。 ・特別支援教育や人権・同和教育に関する集会等を開催し、学校全体で考える時間を作る。 ・学校行事や生徒会活動、学級活動等での集団づくり(仲間づくり)の活動を積極的に行う。	・アンケートで肯定的な回答の割合	80	100	97	89	A	【職員】生徒を褒めたり励ましたりするプラスの声かけや、諸行事・諸活動での仲間づくりを通して、豊かな人間関係の醸成に努めた。(100%⇒100%) 【生徒】いじめを許さず、温かい人間関係ができていくか。(87%⇒97%) 【保護者】学校のいろいろな取組みは温かな人間関係を築くための適切な指導となっているか。(88%⇒89%) ⇒温かい人間関係づくりのための取り組みのさらなる充実	・外からは見えないことだが、生徒の上昇率を見れば、温かい学校になっていると思う。 ・ふるさと教育の報告からも学校の雰囲気がいよと感じる。	A	
安夢流	確かな学力の定着を図る学習指導の充実	学習の基本的なマナーやルールの定着	・始業のチャイムを教室で聞くとともに、終業時間を守る。 ・各教科で授業の約束をきちんと守らせる。 ・本時の「めあて」と「ふりかえり」を意識する。	・アンケートで肯定的な回答の割合	80	90	98	—	A	【職員】学習規律の確立や「めあて」と「ふりかえり」の確認。(79%⇒90%) 【生徒】先生は学力がつくように指導してくれる(97%⇒100%) 【生徒】クロームブック使用のルールを守っている。(97%) ⇒ネットトラブル未然防止について(家庭も含め)継続的な指導を	・具体的なトラブルはないか。 →クロームブックではあまりないが、生徒自身のスマホ等では把握しきれない部分もある。 ・どのくらいの生徒がスマホを持っているか。 →確認はしていないが、生徒の話等からかなりの数だと思う。	A	
		自分の思いや考えを表現する場面を取り入れた学習による学習意欲の向上	・話す、書く、発表し合うといった自分の思いや考えを表出する場面を取り入れた授業を行う。	・アンケートで肯定的な回答の割合 ・県学力調査の意識調査における学習意欲に関する項目の肯定的な回答の割合の平均	80 80	100 71	—	—	A	【職員】自分の思いや考えを表現する場面を取り入れた授業を行った。(93%⇒100%) 【生徒】授業で、言いたいことを友だちにうまく伝えているか。また、友だちの意見を最後まで聞いているか。(97%⇒100%) 【県学調】学習活動調査:国語観点3・4・5の平均 84%⇒71% ⇒授業改善に向けての研修・研究推進(生徒指導の視点も忘れずに)	・生徒が自分の言葉で自分の意見を話すことができていくか。 →生徒数が少ない分、生徒一人一人が人前で話す機会が多い。生徒も吉賀高校でアントレがあるように、進学すると必要な力であるという意識をもっている。 ・いろいろな場面で話すことが上手くなっていると感じる。	A	どの生徒にも人前で自分の考えを話す機会を意図的に作ることが重要。
		家庭学習の定着	・細やかな見取りにつながる課題の出し方を工夫する。 ・毎日の課題にきちんと取り組み、自主的に自学にも取り組んでいる。	・県学力調査の家庭学習の項目において、平日実施1時間以上の割合 ・アンケートで肯定的な回答の割合	80 80	— 90	40 100	— 48	—	C	【職員】細やかな見取りにつながる課題の出し方を工夫した。(93%⇒90%) 【生徒】家で宿題をその日のうちにやっている。(85%⇒100%) 【保護者】家庭学習の習慣は身についていると思うか。(44%⇒48%) 【県学調】平日1時間以上:1年…36% 2年…43% ⇒家庭学習(家勉強ノートや宿題・課題)についての研究推進の継続	・教員はいろいろな形でアプローチしていると思うが、家庭学習の時間は足りていないと思う。町全体としても、学校だけでなく、保護者・地域が一緒になって考えていかなければならないだろう。	C
感夢	人生観を育むキャリア教育の充実	地域のヒト・モノ・コトとのつながりを重視した取組の推進	・学校行事での取組を工夫する。 ・総合的な学習の時間による取組を工夫する。 ・教科、道徳、学級活動による取組を工夫する。	アンケートで肯定的な回答の割合	80	90	—	—	B	【職員】地域とつながりを重視した取り組みができたか。(79%⇒90%) 【保護者】学校は地域と一体となった教育活動を十分に行っているか。(64%⇒63%) ⇒保護者も巻き込んだサクラマスプロジェクトへの参画意識の向上	・保護者は日中のことで知らないことも多いだろう。家庭でどれくらい話しているだろうか。家庭での会話が増えると保護者の意識も上がるのではないと思う。 ・小学校時と比べて、自分の子の時も地域との取り組みをしていなかったように思う。生徒はやることも多く、自分たちの世界もあり、大変だろう。 ・保護者と一緒に行える活動を考えてよいかもかもしれない。 ・「結」プロジェクトは、吉賀中独自の取り組みでとてもよい。 ・サクラマスプロジェクトも考え直していく時期になってきているかもしれない。地域の行事等に参加することが次にどう繋がっていくかを考えていく時期だと感じている。	B	「結プロ」等、生徒の主体性を大切にしながら、まずは具現化、実践を重ねていくことが必要。
		地域貢献による自己肯定感の高まり・地域への愛着の醸成	・生徒会を主体としてボランティア活動に取り組む。	アンケートで肯定的な回答の割合	80	80	99	—	A	【職員】生徒の地域貢献による自己肯定感の高まりや地域への愛着の醸成。(93%⇒80%) 【生徒】地域の人の役に立ちたい。(95%⇒97%) 地域に対して感謝の気持ちで活動できた。(98%⇒100%) 【保護者】学校は地域と一体となった教育活動を十分に行っているか。(64%⇒63%) ⇒「結プロジェクト」の活性化		A	「授業公開日(学校公開日)」の拡充等、さらなる積極的な情報発信に努める。
感流	豊かな心を育てる道徳教育の充実	道徳の時間の取組みと体験活動の工夫	・道徳の時間による指導を適切に行う。 ・さまざまな感動体験ができるよう教育活動を工夫する。	アンケートで肯定的な回答の割合	80	##	—	—	A	【職員】豊かな心を育てる道徳教育の充実を努めた。(100%⇒100%) ⇒年間指導計画に基づいた授業実践と道徳の授業研究の共有	—	A	
流	温かさと厳しさのある生徒指導の充実	時を守り、場を清め、礼を正す指導の徹底	・率先垂範し、教職員がモデルとなる。(時間を守る、そうじ、あいさつ、履物そろえ) ・生徒会活動や部活動指導の取組に位置付ける。	・アンケートで肯定的な回答の割合	80	90	93	96	A	【職員】時を守り、場を清め、礼を正す指導の徹底に努めた。(100%⇒90%) 【生徒】気持ちの良いあいさつ(97%⇒100%) 正しい身なりや言葉遣い(92%⇒93%) 整理整頓、(87%⇒86%) GKOを意識している(92%⇒93%) 【保護者】家庭や地域で、気持ちの良いあいさつを行っているか。(92%⇒96%) ⇒指導の継続を	・吉賀中の生徒は皆立ち止まって相手を見てあいさつしてくれる。いい物を伝え伝統となっている。 ・月始めのあいさつ運動時にもきちんとできていると感じる。横断歩道を渡った後の自動車へ頭をさげることもできる。小学生も育っている。中学生の姿を見ているからだろう。	A	いつでもどこでも誰にでも自分からあいさつができるよう、さらなる質の向上ができることと良い。
		生徒の状況を的確に見取る組織体制づくり	・主任等連絡会、特別支援教育部会等を計画的に実施する。 ・教育相談を計画的に実施する。	・アンケートで肯定的な回答の割合	80	90	69	74	B	【職員】各種会議や教育相談等を実施し、生徒の状況把握に努めた。(93%⇒90%) 【生徒】先生に気軽に相談できる(64%⇒69%) 【保護者】気軽に相談できる体制であったか。(68%⇒74%) ⇒生徒や保護者が声をかけやすい相談環境づくり ～(外部への)伝え方や学校開放(来校機会)の複数化～	・努力をしているのは伝わる ・このくらいの数字になるのだろう。	B	
安	教育環境の整備	物的環境及び言語環境の整備	・安全点検を計画的に行うとともに日直等による見回りを適正に実施する。 ・掲示物の表現並びに生徒や職員の日常の言葉を適切に使う。 ・職員間の協働姿勢を示す。	・アンケートで肯定的な回答の割合	80	90	93	93	A	【職員】安全点検や環境衛生は適切か。(100%⇒90%) 【生徒】正しい言葉遣いができたか。(92%⇒93%) 掃除を怠けない。(93%) 【保護者】校舎内外の環境整備は適切か。(88%⇒93%) ⇒施設等の正しい利用と環境美化の推進	—	A	備品や施設を大切に使うことや校内の環境整備への意識を学校全体で高めていくと良い。